

平等寺だより

み仏の絆

住職 丸子 孝法

年頭にあたり皆様のご清福をご祈念申し上げます。

今から786年の昔、大本山永平寺ご開山道元禪師は、正伝の仏法を求め命がけで中国に渡られました。諸山遍歴の26才の夏、天童寺において、ついに正師如浄禪師にめぐり合うことができたのであります。もしこの尊い勝縁がなければ釈尊の仏道がこの日本に伝えられることがなかったのかもわかりません。

幸いにして昨秋11月大本山永平寺貫首福山諦法禪師に随行して、中国の天童寺・浄慈寺に報恩拝登する法縁に恵まれました。福山諦法禪師ご親修にて、天童寺では道元禪師得法靈蹟碑建立

30周年記念法要、浄慈寺では如浄禪師の宝塔に碑亭様式石造の「浄祖廟」落慶法要が営まれました。

中国天童寺166代住職・誠信法師、浄慈寺監院妙高法師をはじめとする中国仏教会の皆様とも信頼関係を深める友好交流の場となりました。このことは、日本と中国の社会安寧のための大きな役割をはたすものと思います。

お釈迦様から数えて達磨さまが28代、如浄禪師が50代、道元禪師は51代、瑩山禪師は54代、わが本師平等寺先代明菴秋正大和尚は94代、小納徹源孝法は95代。檀徒の皆様は仏戒を受ければ96代目の「お釈迦さまのお弟子」です。誠に尊い仏縁です。本年もどうぞよろしくお願い致します。

発行

☎633-0001
桜井市三輪38
三輪山平等寺
TEL/FAX
0744-42-6895
<http://www.byodoji.com/>

中国天童寺

道元禪師得法靈蹟碑

天童寺住職 誠信法師



天童寺 大塔



天童寺 大雄寶殿



太白山天童禪寺にて



大雄寶殿内にて法要



浄慈寺

浄慈寺大雄寶殿



浄祖廟の前にて
中央 福山諦法禪師、
浄慈寺妙高監院と共に



如浄禪師寶塔と
完成した「浄祖廟」



ダーマラジカ寺

副住職 丸子 孝仁

平成22年9月23日の彼岸会では、師匠も九州へ特派布教に出ていましたので、子供達と一緒に鼓鉢を鳴らし、総代様方に塔婆を運んでいただき無事につとめることができました。法要が終わり後片付けと掃除をしてから関西空港に出発しました。空手道MAC石島副代表と一緒に、多くの関係者のはからいで念願であった「Banggraddeshu・Mohammed Dojo」に訪問しま

した。空手道場に親交の深い「ASUKA」代表尾崎氏の支援により遠征が実現、空手交流の輪を深め、より一層の信頼関係を結ぶ事となりました。Banggraddeshuはイスラム教の国ですが、私が僧侶ということでした。ある寺院に案内していただくことになりました。お寺に着きますと、境内中央には大きな池があり、その周囲を7メートルはある金色の釈迦如来像と建物を取り囲む形になっていました。しばらく



くしてから、赤いお袈裟を身にまとった老僧が出てこられました。こちらのお寺の住職、Ven. Sudhananda Mahathero師でした。まず、大きな仏舎利塔が奉られている部屋に通していただきましたので燭に火を灯して焼香して三拝いたしました。

それから、そのお寺の再建に尽力された日本人の早川崇氏のご位牌の前で読経しました。早川崇氏は長年、衆議院議員をつとめながら日本Banggraddeshu協会の会長をつとめられた方で、生前中はBanggraddeshuとの友好に尽くされた方でした。その後、応接間にてバナナとお菓子、コーヒーをいただきながらお話を聞きました。ご名刺をいただきました。思わず目を疑いました。そのお寺の名前が「ダーマラジカ」だったのでした。

今から30年ほど前、師匠が平等寺再興の勸進托鉢行に出ています時に、広上搭貫上人から二度、励ましのお手紙をいただいたそうです。広上搭貫上人は世界の平和運動に取り組まれた藤井日達上人と交流があったそうです。藤井日達上人は世界平和を祈願して、世界各地にたくさんの仏舎利塔を建立された方でした。師匠は郡山に托鉢に行きました時に広上搭貫上人に出会い、なんと広上上人から平等寺中興開山の慶円上人の伝記本を見せ

られたそうです。広上上人は、その伝記本を「あなたのお寺のものだから」と師匠に渡されたそうです。

それから師匠と広上上人の交流は続きまして、本堂の落慶法要にも来ていただきました。ところが、ある日、広上上人が病に倒れたことを聞いて三重県のお寺までお見舞いに行ったそうです。その時に、「これはBanggraddeshuのダーマラジカ伝来の仏舎利です。あなたのお寺に奉ってください」と言ってお寺に授けられました。それが、現在、平等寺の二重の塔の中心におまつりしている仏舎利なのです。私は早速、師匠に国際電話で聞きますと、まさに、その「ダーマラジカ」だったのでした。私の驚いた様子に、ご住職のマハセロ師も驚かれ、私の携帯を取り師匠とベンガル語で話していました。師匠も一生懸命に話し、途中で通訳の方に間に入っていたのですが、おそらく二人には言葉はほとんど通じていなくても、心が

通じ合ったのではないでしょう
うか。

「ご住職に手をとられ、お寺の境内にある学校にご案内いただきました。大きな学校でした。廊下から教室の中を見ますと、日本の学校からみれば狭い教室でし



たが、どの教室にも、たくさん子ども達がいて、目を輝かせながら一生懸命に勉強していました。私が廊下から合掌して挨拶しますと、子ども達も皆一斉に立ち上がって合掌して応えてくれました。「仏教信仰があつい学校だなあ」と感心しながら教室をまわって

きますと、ご住職が突然、私の手を引っ張って教室の中に入っていく。ある女の子の背中をたたきながら、

「この子は私の娘です」と話されました。私は、どういふことなのか通訳の方に聞いてみますと、「この学校の子ども達は親を亡くした孤児達なのです。ここに

いる子ども達は、この学校の隣の宿舎で寝泊まりし、3食のご飯を食べて教育を受けています。それでご住職は私の娘といっているのです」と聞かされ驚きました。さらに、ご住職が、

「ここに600人の子ども達は、皆、私の子ども達です」と話されて、もう一度その子ども達の輝く目を見た時には感動のあまり言葉もありませんでした。バングラデシュではイスラム教の教会に於いても、貧しくて食べるものさえない人達の為に食べ物を振舞っていました。

かけがえのない出会いにたくさんさんの事を学ばせていただきました。ご支援くだ

さいました皆様方に深く感謝申し上げます。

梅花講だより

奈良県奉詠大会に参加して

日浦 愛子

平成11年の8月にお寺の方より梅花講に参加する様にお勧めいただきました。

もとより私は自信がなく人様の面前で、とても無理ですとお断り申しましたが熱心にお勧め頂きましたので、何の自信も無しに梅花

講に入講させて頂きました。初めは何もわからず只おろろするばかりでしたが方丈様初め奥様に色々手は



どきをたまわり、長い間よちよち歩きではございましたが梅花講員の方々にご指導をいただき、今ではついていける様になったと思っております。

毎年、奈良県梅花講の奉詠大会が開催されております。それに参加させていただけますが、毎回それはそれは緊張で頭の中が真っ白になります。それでも、今回も頑張ってお唱えさせていただきます。

他の地区から出場されている中には、上手な方もいらつしやいます。これから一生懸命に練習に励み御詠歌をお唱えしたいと思ひます。

まずは体に気を付けて平等寺のため護持会のために精進致すつもりでありますので、よろしく御指導をお願い致します。

◆昨年は大阪で開催されました全国梅花大会にも参加しました。

第33回緑蔭禅の集い

奈良県曹洞宗青年会主催「第33回子ども緑蔭禅の集



い」が平城宮跡と東大寺様を会場に開催されました。

今回は40名の小中学生が参加し、なんと東大寺大仏殿の毘盧遮那仏のおひざもとにて法要と坐禅をつとめさせていただきました。平等寺からは、瞳ちゃん、辰斗くん、竜也くん、集くん、竜輝くんが参加しました。皆、しっかりと坐禅していました。

今年は7月16、17日で開催予定です。ぜひ、参加してください。



護持会だより

三輪山と私

師岡 清高



私は護持会にお世話になっております師岡と申します。

初めて平等寺にお伺いしてから早いもので25年が過ぎようとしています。私が平等寺にお世話になる様になりましたのは、昭和60年、父の四十九日のお参りをお願いしたことから始まりまし。亡くなりましした父は埼玉県から大阪に出て生活をしており、商売をしていたことから三輪大神を信仰しており、三輪山には毎月、お参りをさせていた。私自身も幼少の頃から祖母と共に、お山にずいぶんお参りさせていた。三輪の里とも因縁浅からず

でしたが、恥ずかしいことに平等寺について全く知らずに過ごしてまいりました。父の死後、本家でも代々お世話になっていて曹洞宗のお寺にお世話を頂こうと、お寺を探しておりました。がなかなか思ってお寺に出会えず、私が勤めております大学の卒業生で奈良桜井にお住まいの永田さんに相談した所、永田さんのお兄様から三輪に素晴らしい方丈さんをおられるお寺があることを教えていただき、お寺にお伺いするようになりました。お迎えいただいた方丈様のお話を伺ううちに、是非この方丈様に父だけでは私にも、心を決めお世話になることにさせていだきましした。

檀家の一員にさせていただいてからは、母は梅花講に入らせていただき、友達も増え心豊かな楽しい晩年を過ごすことが出来ました。今は平等寺の檀家にさせていただいたことで、父母に親孝行をさせていた。私も思っております。方丈様、副住職様、檀家の皆様方に

は感謝感謝につきま。私はまだ大学に勤めており、微力ではありますが、これからは少しでもお寺のお役に立つよう勤めて参りたいと考えております。これよりも方丈様、皆々様方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。閉じさせていただきます。

合掌

十六羅漢像 開眼

8月1日午前は最勝会大法要を厳修し、施食会をおつとめ致しました。

午後からは副住職の空手の縁で鎌倉の寺尾様より寄贈いただきました十六羅漢、観音様、地藏様の開眼法要をいたしました。また、笛奏者・雲龍師に最勝会に因んだ曲を献笛いただきました。



年間行事予定

【一月】一〜三日 修正会

十一日 十二時 昼食

十三時 初護摩会

【二月】三日 十時 星祭会

十五日 七時 涅槃会

二十七日 護摩会

【三月】二十一日 十四時 彼岸会

【四月】三日 十時 大護摩会

花祭り「ちごねり」募集

【五月】三日 三輪の市

【七月】上旬 本山研修会

十日 作務の日

【八月】一日 九時半 最勝会

下旬 子供坐禅の集い

十三時 親子坐禅会

【九月】二十三日 十四時 彼岸会

【十月】下旬 梅花大会

【十一月】三日 三輪の市

【十二月】一〜八日 朝六時

摂心会並びに成道会

上旬 歳末托鉢行

二十一日 十四時 終護摩会

三十一日 除夜の鐘

月間行事予定

一・十五日 六時 祝朝課

四・二十九日 月仏参

十八日 十三時 梅花講

二十四日 十四時 水子供養

二十八日 十四時 護摩会

(一・二・十二月は右記参照)

日曜日 六時半 坐禅会

みー子が行く⑤

お寺にはみー子とフワとチロンの3匹の猫がいます。たまに鳥やネズミを捕まえて食べているようです。命をいただく人間も動物も同じ。手を合わせて感謝していただきます。

テレホン法話

曹洞宗布教師の「心の法話」が電話で聞けます。近畿内0120148740近畿外0753514443

ご案内

お寺のホームページがあります。ぜひ、ご覧ください。
<http://www.byodoji.com/>

三輪山裏

金峯山寺様の蔵王権現はお釈迦様の権(かり)の姿だそう。不動明王も忿怒(いかり)の姿を現わして居られますが、これは内秘慈悲、外現忿怒といつて仏の教えに随わない強情な衆生をあわれむ御心の現れであるそうです。

児童の虐待死が増えています。慈悲慈愛による怒りは暴力とは違います。まずは履物を揃えます。

編集子 孝仁